

ドキュメンタリー映画「かけはし」について

ミュージズの里は、「表現の場づくり」と「異文化交流」をテーマに国籍・世代・ジャンルを超えて、映像・音楽・出版etc. 様々な媒体を創造し、国際社会の平和の実現に貢献する事業を目指しています。第一回JASRAC音楽文化賞を受賞した映画「アオギリにたくして」は、2013年夏に劇場公開後も、映画館・自治体・学校・公共施設etc. による日本全国上映がロングランで続いています。2016年6月からはアメリカ試写会も行われ反響を呼び、2016年より本格的に海外上映がスタートします。そして、この度、ミュージズの里がお届けする第2弾の作品としてドキュメンタリー映画『かけはし』が完成いたしました。2017年2月より劇場公開がスタートします。皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

<主旨・内容>

Introduction インTRODクシヨN

空前の韓流ブームから、反韓・嫌韓のヘイトスピーチへ。

この十年あまり、愛と憎悪のはざままで激しく揺れ動いてきた日韓関係だが、そんな喧噪から離れたところで、ひっそりと、しかし着実に受け継がれている国際交流の絆がある。

2001年1月26日、JR新大久保駅で、線路に転落した日本人を助けようと、カメラマンの関根史郎さんと韓国人の日本語学校生のイ スヒヨN（李秀賢）さんがホームから飛び降り救助にあたったが、三人とも帰らぬ人となった。スヒヨNさんが外国人であったことから、この事件は大きな話題を呼び、来日したスヒヨNさんのご両親のもとには日本全国から弔慰金が寄せられた。ご両親は深い悲しみの中で、生前「日韓のかけはしになりたい」と言っていた息子の遺志を継ぐため、アジアからの日本語学校生を支援する奨学会の設立を関係者に懇願し、受け取った弔慰金を寄付した。

「息子と同じように、母国と日本のかけはしになることを夢見て来日した若者たちにこれを支給してください」

こうして発足した奨学会（特定非営利活動法人エルエスエイチアジア奨学会）は、この14年間に18の国と地域から来日した790名の留学生に奨学金を手渡してきた（2016年10月現在）。最近では、日本の小学校の教科書にスヒヨNさんのことが掲載されるようになり、2015年6月にはご両親に対し、これまでの活動を顕彰して日本政府より「旭日双光章」が授与された。

本作品『かけはし』第1章では、関係者インタビューによってスヒヨNさんの人生を浮かび上がらせると共に、彼の死後、ご両親と同奨学会が行った留学生支援活動や奨学金を受けた留学生の姿を描いている。また第2章では、日韓国交正常化から50周年を迎えた2015年に釜山から22名の大学生が、スヒヨNさんのゆかりの地を訪れ、日本の若者や一般人と交流した1週間の旅に密着し、彼らの心の変化に迫っていく。

～ご挨拶～

I am a Bridge! 国籍・民族・文化・習慣・世代など様々な違いを超えて「人は誰もが心と心を繋ぐかけはしになれる!」。『かけはし』の取材を通して出会った世界の若者たちの姿から強く感じたことです。

留学生の皆様が母国に帰った後も、日本がもう一つの故郷として愛される国であったなら、そして出会いによって生まれる新しい視点が、より多様な可能性と心豊かな社会を生み出さうのなら、世界の人々と繋がり育まれる友情は、平和で魅力ある日本と世界を創り出していくことでしょう。

日本全国での自主上映に向けて、皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

企画・製作・主題歌・統括プロデューサー

中村里美

～ドキュメンタリー映画『かけはし』製作スタッフ～

企画・製作・統括プロデューサー：中村里美

製作・プロデューサー：伊藤茂利

監督：中村柊斗

ナレーション：牛島摩弓

音楽監督：伊藤茂利

主題歌「かけはし」：中村里美

Adviser&協力：長谷川直樹・石川均・倉本和人・中根克

予告編：柴田誠

制作・配給：© (株) ミューズの里

第1章：「I am a Bridge!」 (42分)

制作チーム：中村里美・伊藤茂利

制作：「かけはし」制作委員会

制作協力：渡川修一・伊藤良重・石塚佐和子・飯田加菜・TAKARA

撮影・編集：石川均・中村柊斗・伊藤茂利

撮影・編集協力：倉本和人・中根克

撮影協力（韓国）：尹吉鎬

韓国語通訳・翻訳：キム ウォンギョン

ナレーション録音：山口勉

MA：山下裕康

題字・チラシ：吉田しんこ

第2章：「足跡をたどって」 (53分)

制作チーム：中村里美・伊藤茂利

制作：「かけはし」制作委員会

制作協力：渡川修一・伊藤良重・石塚佐和子・飯田加菜・TAKARA

撮影・編集：中村柊斗・石川均

撮影・編集協力：倉本和人

映像提供：有原誠治

ナレーション録音：山口勉

MA：山下裕康

題字・チラシ：吉田しんこ

第1章：主題歌「かけはし」 & 第2章：エンディングソング「君の声が聞こえる」

作詞・作曲・歌：中村里美

編曲・ギター：伊藤茂利

ピアノ：坂井千浪

挿入曲

ギター：伊藤茂利

ピアノ：坂井千浪

レコーディングエンジニア：岡部晃久

■ 撮影形態：ビデオデータ撮影

■ 公開形態：DLP Blue Ray公開 第一章

■ 公開予定：2017年2月劇場公開スタート～！

詳細は、ドキュメンタリー映画「かけはし」公式HP ➡ <http://kakehashi-movie.net>

～あなたの街で「かけはし」上映会を企画しませんか？～日本全国自主上映会募集中～！

【監督】 = 中村 柊斗

成蹊大学中退後、演劇活動に入り、自ら劇団を作る。劇団解散後は劇作家としてジャパンアクションクラブ（現ジャパンアクションエンタープライズ）に作品を提供。劇団四季にて外国人俳優の日本語指導にも当たっている。2010年、『夢幻の如く一異聞・本能寺の変』（廣済堂出版）で作家デビュー。『奇蹟の如く一異聞・島原の乱』（廣済堂出版）、『最後の贈り物』（双葉社）等が好評発売中。2013年完成の劇映画「アオギリにたくして」原作・脚本・監督を務める。原作の『アオギリにたくして』は徳間文庫より出版。小説家・劇作家・演出家として活躍中。

【企画・製作・統括プロデューサー】 中村 里美

1986年、アメリカの学校・教会等で原爆映画を上映し、ヒロシマ・ナガサキの被爆者のメッセージを伝える日米協草の根ボランティア活動「ネバー・アゲイン・キャンペーン」第1期生として渡米。広島の中国放送によって2年間に渡り当時の様子が撮影されたドキュメンタリー番組「ヒロシマってなあに？」は、その年のTBS系列ドキュメンタリー優秀賞受賞。帰国後「アメリカにだって伝えちゃえ」（汐文社）を出版し講演活動を行う。27歳で異文化コミュニケーション誌「ひらがなタイムズ」編集長に就任。4頁の無料配布からスタートした同雑誌は、その後全国流通を通り、世界80カ国に読者を広げ「NTTタウン誌大賞」受賞。8年間の編集長と企画営業・流通チーフを経て独立。8カ国の多国籍出演者が被爆体験と母国の戦争体験を日本語で伝える朗読劇「トンボが消えた日」をプロデュースし、戦後50年特集としてテレビ朝日2時間特番で放映される。NHKで放映された「世界へヒロシマを語り継ぎたい～8カ国の若者たちの朗読劇～」は、世界200カ国以上に翻訳され放映。2008年8月6日（株）ミューズの里を設立。「表現の場づくり」と「異文化交流」をテーマに、国籍・世代・ジャンルを超えて、映像・音楽・出版etc.さまざまな媒体を創造し、国際社会の平和の実現に貢献する事業を目指している。2008年より、シンガーソングライターとして、歌と語りでヒロシマ・ナガサキを伝える「いのちの音色」全国ライブ公演活動をスタート。2010年、米国ワシントンの財団法人カーネギー地球物理学研究所にて海外初のライブを行い広島平和記念公園の被爆アオギリの種から育った被爆アオギリ2世の植樹を行う。2013年夏に完成した初プロデュース映画『アオギリにたくして』は、第1回JASRAC音楽文化賞受賞。主題歌・挿入歌等の作詞・作曲・歌も手がけ、企画・製作・統括プロデューサーを務めた「アオギリにたくして」は、日本全国での上映がロングランで続き、2016年6月に米国6箇所での試写上映を経て2017年より米国上映が再スタートする。第2作目の企画・製作・プロデュース作品となるドキュメンタリー映画「かけはし」は2016年2月劇場公開予定。主題歌「かけはし」の作詞・作曲・歌も担当。現在製作中で、第三作目となる「砂川～大地の記憶～」では、初監督も務める。◎著書に「アメリカにだって伝えちゃえ」（出版社：汐文社）／日英対訳・絵本「おりづるののって」（出版社：ほんの木）／CDアルバム「アオギリにたくして」「いのちの音色」等

【プロデューサー・製作・音楽監督】 = 伊藤 茂利

高校時代に、来日中のジャズピアニストのマル・ウォルドロン氏に電話越しにギターを聞いてもらったことがきっかけとなり、本格的にギタリストへの道を歩み始める。1980年代後半に、キングレコードから『マグネチックストーム井上博&RASA』でアルバムデビュー。ジャズスクール『メーザーハウス』の講師を勤めながらライブ活動。2006年1月、オリジナルインストバンド『Natural Vibration』を結成。（株）ミューズの里専務取締役役に就任。「表現の場づくり」をテーマに、オープンマイク等、表現者に開かれた場づくりのプロデュース活動を行う。

2010年、米国ワシントンの財団法人カーネギー地球物理学研究所にて、シンガーソングライター中村里美と共に海外初のライブを行い、広島平和記念公園の被爆アオギリの種から育った被爆アオギリ2世の植樹を行う。歌と語りでヒロシマ・ナガサキを伝える「いのちの音色」全国公演を行っている。2013年夏に完成した『アオギリにたくして』では、音楽監督とプロデューサーを務めギターを担当。「アオギリにたくして」制作委員会は、第一回JASRAC音楽文化賞受賞。2014年秋公開された『LAST LOVE』（石川均監督作品／出演：火野正平・桜木梨奈他）のギター音楽を務める。第二作目となるドキュメンタリー映画『かけはし』でも製作・プロデューサー・音楽監督を担当。ギタリスト、映画音楽監督として活躍中！

**お問合せ先 (株) ミューズの里「かけはし」制作委員会 <http://kakehashi-movie.net>
TEL: 070-5568-8204 TEL&FAX: 042-810-1100
E-mail:info@musevoice.com または E-mail:crosscultureplaza@yahoo.co.jp**